

平成30年度

# 一般会計当初予算

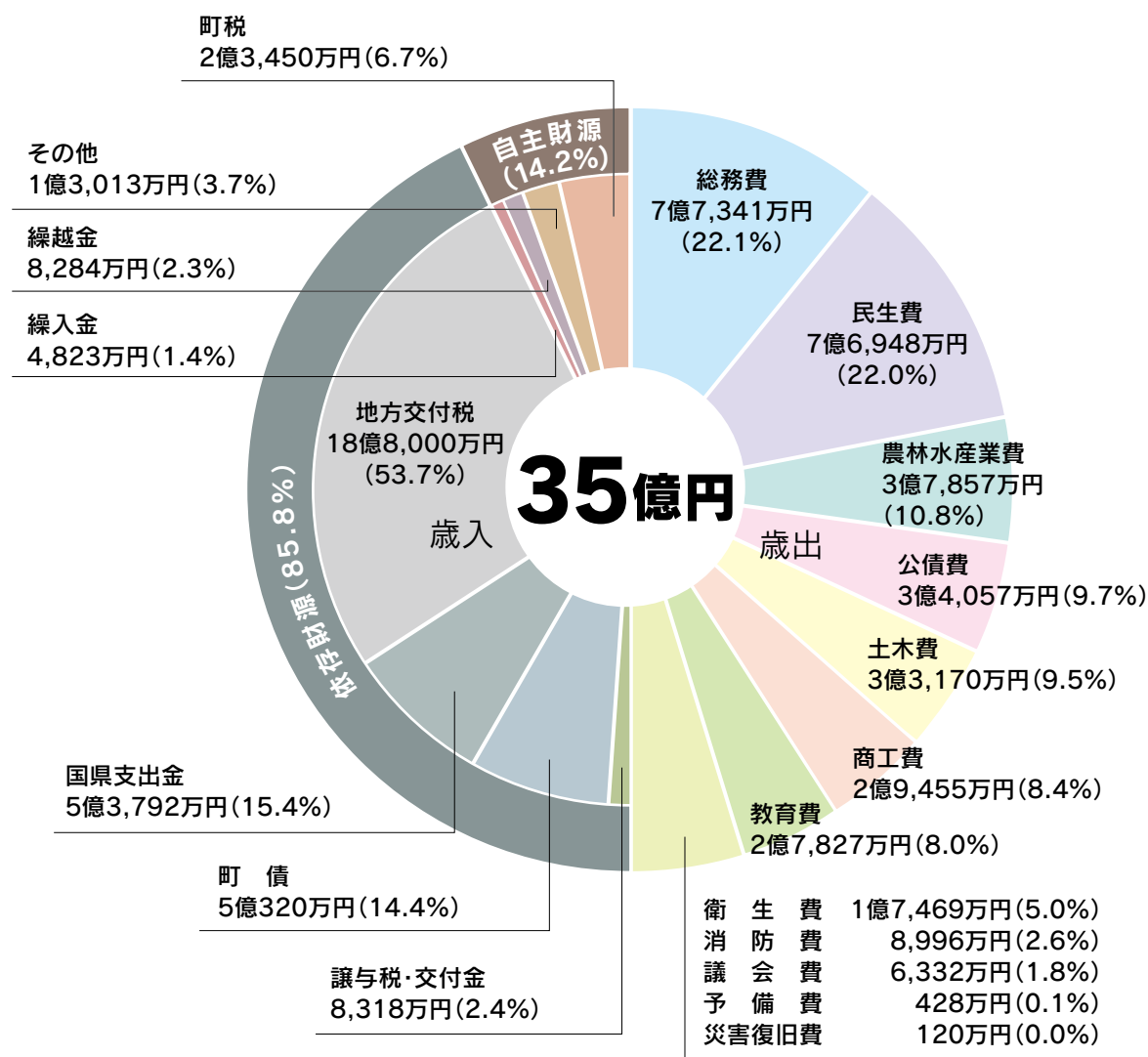
平成30年度一般会計当初予算の総額は35億円で、前年度より1億1,400万円（前年度対比3.2%）減少しました。平成30年2月に町長選挙があったため、当初予算は経常的な費用及び前年度からの継続事業を盛り込んだ骨格予算となっています。

主な事業は、わかさ氷ノ山スキー場管理棟等改築、町営住宅若葉団地建替事業、町道新設改良事業、観光列車を活用した観光振興や観光広域連携に取り組む地方創生事業、地域おこし協力隊員設置などです。

このほか、移住定住相談・交流センターを拠点に移

住者の受入促進などの移住定住対策、少子化対策・子育て支援を推進するためのわかさこども園の保育料無償化や子育て応援給付金の支給、若桜学園児童・生徒の給食費と英語検定受験料の1/2助成を引き続き実施します。

今後、新体制のもとで肉付予算を計上し、人口減少対策、地域の特性に即した対応や制度全般の見直しを進め、当面する諸課題の解決に向けた取り組みを行い、町民の皆さまが安心、安全、快適に暮らすことのできるまちづくりを進めてまいります。



注：( )内の割合は総額に対するものです。

## 総務費

- 地域情報通信基盤施設(5,063万円)  
IP告知端末関連機器の更改と設備の維持管理を行います。
- 地域間交流(180万円)  
福井県若狭町、兵庫県多可町、東京都武蔵野市など他地域との交流を推進します。
- 国際交流(479万円)  
韓国平昌郡の職員受入等により、友好交流を推進します。
- 移住定住対策(1,924万円)  
移住定住相談、移住者居住施設整備、空き家再生助成などを行います。
- 地方創生(2,153万円)  
1市6町による広域観光開拓・推進、観光列車「昭和」を活用した観光振興などに取り組みます。
- 地域おこし協力隊設置事業(3,971万円)  
鉄道、農業、商業、観光部門に隊員を配置し、施策の充実と地域の活性化を推進します。
- 若桜鉄道対策(2億678万円)  
八東駅行き違い施設の整備など鉄道施設の整備・保守管理を行います。  
また、沿線地域の活性化推進や利用促進を展開します。
- バス運行(3,467万円)  
町営バスの運行、バスターミナル管理、諸鹿線や広域路線バスの運行費用助成を行います。
- 村づくり交付金(160万円)  
村づくりにつながる活動支援を目的に全集落に交付します。
- 集落公民館等施設整備補助(100万円)  
集落内の外灯のLED化、集会所の改修などを助成します。
- ふるさと納税推進(941万円)  
ふるさと納税寄付者に地域の特産品を贈呈し、財源確保と町のPRを行います。

## 教育費

- 学力向上支援(161万円)  
支援員(元教員、地域協力者)の指導により、児童・生徒の学力向上を支援します。
- 入学、進級祝金(26万円)  
若桜学園の1年生と7年生に教育費として1万円を支給します。
- 学校給食費の軽減(358万円)  
子育てで支援として町が給食費の1/2を補助し、保護者負担の軽減を図ります。
- 通学対策(913万円)  
若桜学園に通学するバス定期券・回数券などを支給します。  
また、若桜鉄道または日本交通の定期券を購入した高校生に月額7千円の通学助成金を支給します。
- 子ども国際交流(100万円)  
若桜学園と韓国平昌郡の小学校との交流を推進します。
- 伝統的建造物群保存地区選定(129万円)  
若桜宿内の歴史的町並みの保存を行うため、国選定重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた取り組みを行います。
- 若桜町誌編さん(684万円)  
既存の若桜町誌発行以降から現在までの若桜町の歴史を記録に留め、後世に伝えていくため、「続編若桜町誌」の編さんを行います。
- スキーフット券助成(23万円)  
若桜学園児童、生徒のスキーフット券購入を助成します。
- 生涯学習情報館運営(2,170万円)  
あらゆる年齢層の方が主体的に学習できるよう、図書館業務を主とした管理運営を行います。
- 温水プール管理(2,003万円)  
町民の健康増進、生涯スポーツの振興のため、温水プールを開設し、スイミングスクールの充実を図ります。

## 民生費

- 消費者行政(182万円)  
相談窓口を開設し、住民の皆さまへの啓発活動を行います。
- 介護者支援(210万円)  
自宅で介護されている方に支援金(月額5千円)を支給します。
- 生活困窮者自立支援(616万円)  
生活困窮者の自立を支援します。
- 三世帯居住支援(251万円)  
三世帯居住者に支援金を給付します。
- 敬老事業(459万円)  
明るく健康で豊かな生活を願い、敬老会を開催します。
- 高齢者世帯の豪雪対策(100万円)  
高齢者世帯の雪下ろし費用を助成します。
- シルバー人材センターの運営助成(86万円)  
高齢者の就業を支援し、社会参加と生きがいづくりを推進します。
- 支え愛ネットワーク構築(1,117万円)  
地域住民の暮らしを総合的に支援する体制を構築します。
- 特別医療費(2,521万円)  
障がい者、ひとり親家庭、高校卒業までの方などへ医療費を助成することで、健康の維持、生活の安定を図ります。
- 障がい者福祉(1億2,860万円)  
障がい者の方を援助・保護し、障がい者福祉の促進や障がいのある方の自立を支援します。
- 出産祝い金支給(90万円)  
出産祝い金(第1・2子:5万円、第3子以降:10万円)を支給します。
- 子育て応援給付金(480万円)  
1歳まで家庭で育児を行う保護者に給付金(月額3万円)を支給します。
- 児童措置(2,573万円)  
中学校課程修了までの子どもの保護者に手当てを支給し、生活の安定、児童の健全な育成を図ります。
- わかさこども園の運営(2,835万円)  
わかさこども園の管理運営、保育料無償化を行います。
- 子育て支援センター運営(269万円)  
子育て相談、仲間づくり、世代間交流の場として開設します。
- ひとり親家庭の支援(75万円)  
ひとり親家庭の生活安定と経済的自立を支援します。
- 生活保護(8,200万円)  
被保護者の生活保障と経済的自立を支援します。

## 土木費

- 町道の維持(5,719万円)  
町道の維持補修や除雪を行います。
- 町道の新設改良(7,969万円)  
糸白見2号線法面改良、栃原小学校線改良などを行います。
- 町営住宅管理(6,851万円)  
町営住宅若葉団地の建替、既存住宅の維持管理を行います。
- 中之島公園管理(587万円)  
遊具修繕、公園の維持管理を行います。
- ふるさとの川を守る事業(50万円)  
河川の愛護活動を行う団体や自治会に奨励金を交付します。

## 商工費

- 商工業振興 (3,356万円)  
休憩交流処かりやと昭和おもちゃ館の運営、企業立地促進、正規雇用促進、小口融資の貸付などを行います。
- 観光振興 (2,392万円)  
観光協会運営費や清流まつり、花火大会などの助成、観光関連施設の管理を行い、魅力ある観光地づくりを推進します。
- 氷ノ山の集客促進 (2億860万円)  
高原の宿氷太くんやキャンプ場、町営スキー場施設などの維持管理を行います。また、鳥取県などと連携した氷ノ山の活性化に向けた取り組み、氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会、県境交流事業への助成を行います。  
また、町営スキー場管理棟等の改築を行います。

## 衛生費

- 環境衛生 (231万円)  
資源ゴミ回収やゴミ減量化の推進、生ゴミ処理機の貸し出し、ゴミ減量化モデル地区への助成を行います。
- 塵芥処理対策 (6,488万円)  
ゴミの収集や処理を適正に行い、公衆衛生の向上と環境の保全に努めます。
- 予防費 (1,347万円)  
インフルエンザ、定期予防接種、肺炎予防などを対象に助成します。
- 健康増進 (1,513万円)  
各種がん検診、健康教育、健康相談や生活習慣病の予防、健康ポイント制度を推進します。
- 肝臓がん対策 (279万円)  
肝臓疾患の早期発見対策、肝臓病予防についての啓発を行います。

## 消防費

- 非常備消防 (914万円)  
消防団、自警団の活動支援や消防設備の維持管理、各自治会の備品購入助成を行います。
- 災害対策 (1,793万円)  
有事に備え防災行政無線や備蓄物資の維持管理、住宅耐震に伴う費用助成などを行います。

## 農林水産業費

- 農業振興 (3,396万円)  
中山間地域等直接支払、特産品開発支援、農地中間管理、多面的機能直接支払などを行います。また、新規就農や規模拡大などを支援し生産振興と地域の活性化を図るとともに、農業指導専門員を配置して農業施策を推進します。
- 有害鳥獣駆除対策 (2,967万円)  
野生鳥獣による農林産物への被害を防止するため、捕獲奨励や電気柵やトタンなどの設置費用助成を行います。また、獣肉解体処理施設の管理運営を行い、食用肉を生産します。
- 農業用施設改修 (524万円)  
農道、水路などの農業用施設の改修を推進します。
- 水田営農活性化対策 (464万円)  
水田営農を推進するため、生産者等に各種助成を行います。
- 森林整備 (3,347万円)  
町有林の間伐、個人が行う間伐の助成を行います。
- 作業道新設改良 (981万円)  
森林施業の効率化を図るため、作業道整備を推進します。
- 森林整備地域活動支援交付金 (325万円)  
森林経営計画の作成、境界の明確化を支援します。
- 美しい森づくり基盤整備交付金 (2,280万円)  
造林補助事業対象外となる高齢木の間伐を支援します。
- 若桜材需要拡大推進 (2,630万円)  
木材の搬出、利用促進を補助し、若桜材のブランド化を推進します。
- 木質バイオマス燃焼機器導入モデル推進補助 (160万円)  
薪ストーブなどのバイオマス燃焼機器の導入助成などを行います。
- 森林整備促進集落応援 (210万円)  
一体的に森林整備を行う集落等を支援します。
- 林地台帳整備 (767万円)  
森林所有者や林地の境界に関する台帳を整備し、公表します。
- 林道諸鹿屋堂羅線開設 (2,088万円)  
基幹林道の開設を行い、林業生産性の向上を図ります。
- 林道維持 (1,268万円)  
林道の適正な管理、修繕を行います。
- 水産業振興 (102万円)  
ヤマメ・鮎など淡水魚の稚魚の放流を行い、清流の町をPRします。

## 平成30年度 特別会計当初予算

特別会計10会計の当初予算の合計額は、17億144万円  
で前年度より2億3,762万円  
(前年度対比12.3%)減少しました。

特別会計名	予算額	前年度比 (%)
国民健康保険事業	4億293万円	△22.7
介護保険事業	6億6,010万円	4.7
後期高齢者医療	5,765万円	4.1
簡易水道事業	1億9,693万円	△26.0
公共下水道事業	2億2,691万円	△24.1
農業集落排水事業	1億1,920万円	56.9
赤松団地造成事業	387万円	2.0
財産区造林事業	1,049万円	61.3
索道事業	2,156万円	△72.6
住宅新築資金等貸付事業	180万円	0.0
合計	17億144万円	△12.3